

| ページ数<br>項目等 | ご意見   | 回答（市の考え方）   | 担当課               |
|-------------|---|---|-------------------|
| 2           | コロナ禍における住民の皆様の健康状態に関する調査（厚労省研究事業：健康まちづくり科学センターと国立国際医療研究センターとの共同研究事業）の記述を加えてはどうか。  | 「コロナ禍における住民の皆様の健康状態に関する調査」は4ページ表中、令和4年度の取り組みの関係機関との共同研究で「新型コロナ罹患後症状調査」として記載しております。調査の詳細につきましては、来年度の審議会にてご報告いたします。   | 健康まちづくり<br>科学センター |
| 21          | 特定保健指導の実施率向上のため、遠隔での面談を計画されているが、業者への委託（契約）が困難な際には市独自で計画・実施を検討されたい。  | オンラインを活用した遠隔での特定保健指導につきましては、コロナ禍の状況に鑑み、令和3年度から委託業者において実施を可能とし、令和4年度は、遠隔実施を前提とした保健指導へと仕様を拡充しております。今後も対象者の利便性の向上や効率的な保健指導の実施ができるよう、創意工夫を図りながら、特定保健指導を実施してまいります。         | 健康保険課             |
| 6           | 「年代別陽性率」を算出することによって、0～9歳では約4割が、10～39歳では約3分の1が、40～60歳では2割前後が、60～89歳では1割前後が、90歳以上では2割の人がコロナに感染していることが分かります。これによって、まず児童の感染防止が第一！次いで青少年たち！60代以上は予防接種が奏効しているが、90代以上は要注意を…などが推定でき、医療や行政に役立て得ると思います。「統計」は数字をどう扱うかによって見えるものが違ってきます。 | 3年に及ぶ新型コロナに係る取り組みについて十分に総括を行い、今後の感染症対策に活かしてまいります。   | 保健予防課             |
| 24          | 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援体制が八尾では十分に整っていると思いますが、現実には少子化が下げ止まりません。80歳以上の病気治療も大切でしょうが、子どもを生き育てる政策・誘導はもっとも大切だと思います。国を挙げての知恵と努力が必要であると思いますのでよろしく願います。   | 令和4年11月8日の出産・子育て応援交付金の閣議決定を受け、令和5年2月1日より、妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じ必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と「経済的支援」を一体的に実施する「出産・子育て応援事業」を実施しております。引き続き、国の動向に注視しながら、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に努めてまいります。 | 健康推進課             |

| ページ数<br>項目等  | ご意見   | 回答（市の考え方）  | 担当課               |
|--------------|---|--|-------------------|
| 3            | <p>「健康寿命に影響するフレイル予防の推進」が新たに<br/>取り上げられたことを高く評価します。コロナ禍にお<br/>ける3年間の自粛生活により生じた「自粛禍」にもき<br/>ちんと目を向け、元の生活形態をいかに回復するかに<br/>ついての積極的な検討が必要だと思っています。世界<br/>一の高齢国家である我が国は、高齢者を守る意味から<br/>も厳格な自粛政策を今も取り続けており、国民もそれ<br/>に従ってきました。しかし自粛の悪影響を最も受ける<br/>のも高齢者であり、外出や運動の機会の減少による運<br/>動機能の低下や対人接触の減少による認知機能の低下<br/>など「自粛フレイル」が深刻化しています。高齢者の<br/>自粛フレイル予防について今後具体的な取り組みがな<br/>されることを期待しています。</p> | <p>フレイル予防に向けて、より多くの市民に取り組んで<br/>いただけるよう関係課や関係機関と連携し、組み<br/>組みを進めてまいります。</p>  | 健康まちづくり<br>科学センター |
| 20～21、<br>40 | <p>特定保健指導実施率が9.8%と低迷しています。令和5<br/>年度から、市内12カ所の医療機関へ特定保健指導業務<br/>を委託されると聞いています。特定健診を実施した医<br/>療機関で継続して特定保健指導まで実施するというや<br/>り方は、受診者にとって安心で利便性が良い方法だ<br/>と思います。この事業により特定保健指導実施率が格段<br/>に上昇する事を期待しています。</p>   | <p>本市の特定保健指導につきましては、ご指摘のとおり<br/>実施率の伸び悩みが続いており、喫緊の課題と認識し<br/>ております。こうした中、実施状況の改善を図るべ<br/>く、特定健康診査を実施されている市内医療機関へ特<br/>定保健指導の実施についてご協力いただけるよう、現<br/>在調整・依頼を行っているところです。<br/>今後も引き続き、対象者への勧奨、啓発の創意工夫等<br/>を検討するとともに、医師会等の関係機関のご協力を<br/>賜りながら、実施率の向上に努めてまいります。</p>               | 健康保険課             |
| 37           | <p>主要死因別順位、全国・大阪府との比較は記載され<br/>ています。しかし、令和2年度の審議会でも多田羅先生が<br/>提案された「悪性新生物・心疾患・脳血管疾患等の死<br/>亡率の推移」がまだ記載されていません。来年度の審<br/>議会では必ず発表していただきたいと思ひます。</p>  | <p>「悪性新生物・心疾患・脳血管疾患等の死亡率の推<br/>移」につきまして、別紙のとおりご報告いたします。</p>  | 健康まちづくり<br>科学センター |
| 全体           | <p>健康日本21の中でも健康格差の問題が取り上げられ<br/>ています。covid19感染時の受診と自己検査、陽性者登<br/>録、療養期間の過ごし方においても格差の影響は少な<br/>くないと思ひられます。特定健診、保健指導についても<br/>格差を考慮した対応が受診率、実施率の向上につな<br/>がる可能性があります。こうした観点からの検討も加<br/>えてはいかがでしょうか。<br/>(受診率の低い若年層等へのアプローチの仕方を検討<br/>してはどうか)</p>  | <p>本市の特定健診・特定保健指導につきましては、受診<br/>率等の伸び悩みが続いており、とりわけ、40～65歳未<br/>満の受診者数は、65～74歳と比べて半数以下である<br/>など、若年層を対象とした受診率向上及び長期未受診<br/>者への対策が重要であると認識しております。<br/>これまで、対象者の特性に応じた受診勧奨に取り組<br/>んでおりますが、今後もさらなる啓発の創意工夫等<br/>を実施するなど、引き続き、医師会等の関係機関のご<br/>協力を賜りながら、受診率等の向上に努めてまいり<br/>ます。</p> | 健康保険課             |
| 17           | <p>将来の新たな感染症に備え、普段から医療機関との連<br/>携や入院システムの構築等をお願いします。</p>  | <p>令和4年に成立した感染症法の一部改正の趣旨も踏ま<br/>え、関係機関との連携の強化に取り組んでまいり<br/>ます。</p>   | 保健予防課             |



| ページ数<br>項目等 | ご意見  | 回答（市の考え方）  | 担当課   |
|-------------|--|--|-------|
| 5           | コロナ禍で市民が不安に思われている時、情報の提供を十分にされたことを評価。保健所長と職員が一致団結し、良いチームワークで働かれたことに市民として感謝している。市民の評価も高い。   | 引き続き、ホームページ、市政だより等による広報の充実に努めるとともに、市民の安心・安全のために保健所職員を筆頭に、市全体で連携・協力しながら対応してまいります。   | 保健予防課 |
| 8           | 保健所職員とその他の市職員がともに連携した。   |  |       |
| 15          | 細部にわたる分析やデータを「見える化」されている。今後にすばらしい材料となるに違いない。   | 3年に及ぶ新型コロナに係る取り組みについて、十分に総括を行い、今後の感染症対策に活かしてまいります。   |       |
| 19          | コロナ禍で市民が不安に思われている時、家にこもっている人に食事や健康に関する多くの情報を提供し、とても喜ばれている。参加人数を少なくして研修や指導をしたり、FMちゃおで情報を提供された。  | コロナ禍におきましては、手法を工夫して健康や食育に関する情報の発信や研修会を実施してまいりました。引き続き、関係機関・団体の皆様にご協力いただきながら、タイムリーな情報発信に努めてまいります。   | 健康推進課 |
| 27          | 4カ月、1歳半、3歳6カ月健診は、経験の浅い親へ優しい対応と指導をするなど評価している。八尾市の子ども対策とも十分連携してはどうか。   | 乳幼児健診におきましては、こども総合支援課と連携し、地域の子育て支援につながるよう取り組みを進めております。引き続き、関係部署と連携しながら子育て支援に努めてまいります。  | 健康推進課 |
| その他         | 保健衛生課長等とともに年2回、食品衛生パトロールや食中毒についてFMちゃおに出演しているが、今後も続けていきたい。<br>ハサップ認証制度について、5年ほど前になるが、当時の保健衛生課長等とともに食の安全を求め、ハサップのステッカーを作成した。今では進んでいない。大阪府も次年度に向けてハサップは進めている。ぜひ進めていただきたい。 | 食品衛生パトロールや食中毒に関する啓発につきましては、「八尾市食品衛生監視指導計画」にも掲げているとおり、食品等事業者及び消費者の衛生意識の向上を図るべく、次年度も引き続き、食品衛生関係団体と連携しながら取り組んでいく方針です。<br>HACCPにつきましては、平成30年の食品衛生法改正によるHACCP義務化に伴い、HACCPに係る手引書やステッカー等の交付、相談窓口の設置等、HACCPの周知を徹底してまいりました。また、令和3年6月からのHACCP完全義務化に伴い、施設への監視指導を強化しているところです。今後も引き続き、現場検査時にHACCP実施状況の確認・助言を行うとともに、食品衛生責任者向けの実務講習会を開催する等、HACCPの取り組み支援に努めてまいります。 | 保健衛生課 |

| ページ数<br>項目等 | ご意見   | 回答（市の考え方）   | 担当課                                  |
|-------------|---|---|--------------------------------------|
| 3           | 一番興味深かったのが「八尾市では3人に2人は血糖値が高く、全国や大阪府下と比べても高い」ということ。なぜでしょう。周りにも糖尿病だという人が多い。   | 健康まちづくり計画作成におけるデータ分析で、生活習慣の特徴として、早食い、酒飲み、睡眠不足の方が多いことが判明し、それらが原因の1つになっていると考えられます。  | 健康まちづくり<br>科学センター                    |
|             | 最近、テレビや新聞に「フレイル」という言葉がよく使われるようになった。生活習慣病予防より、フレイル予防の記事をよく目にする。コロナ禍において、高齢者は子どもから「とにかく家から出るな!」と言われた。誰とも喋っていない。家から出ることも少なくなったとよく聞く（ひとり暮らしの友愛訪問時）。健康寿命を延ばすために、要介護にならないために、タンパク質をとる食事と筋力をつける運動も必要だと知ってもらうことが大切。「八尾市健康づくり大作戦」の取り組みに期待する。 | 令和4年度から健康づくり大作戦をスタートさせ、現在、フレイル予防を進めるために「フレイル」への理解や予防のための具体的な生活習慣の周知・啓発のほか、関係課を通じて地域でのイベントや関係機関での取り組みを進めています。今後もより多くの市民に取組んでいただけるよう、関係課や関係機関と連携し、取り組みを進めてまいります。  | 健康まちづくり<br>科学センター                    |
|             | 握力は全身の筋力の指標となるらしい。握力チェックなら簡単に行うことができる。地域もイベント等で協力したい。   | 地域における健康づくりの取り組みについては、地域コミュニティと連携・協力しながら進めております。フレイル予防につきましても、さまざまな取り組みを効果的に実施できるよう支援してまいります。   | 健康推進課                                |
| 5~17        | コロナウイルス感染症について、八尾市は陽性者数がとても多いと感じていました。対応も大変だっただろうと思います。これまでの取り組みがよく分かり、データ結果によって八尾の状況が把握できた。  | 3年に及ぶ新型コロナに係る取り組みについて、十分に総括を行い、今後の感染症対策に活かしてまいります。  | 保健予防課                                |
| 18          | コロナワクチン接種について、ひとり暮らしの方への訪問の中で「ネットが使えない」「耳が聞こえにくいので電話もできない」「かかりつけ医がワクチン非対応」など、接種したくてもできないという相談があり、民生委員として予約に付き添い対応をした。今後、手紙・はがき等の検討もお願いしたい。  | 今後、新型コロナワクチン接種事業の推進にあたっては、さまざまな生活課題を抱えている方を含め、誰もが安心して接種をすることができるよう、予約の手法等について検討してまいります。   | 新型コロナウイルス<br>ワクチン接種事業実施<br>プロジェクトチーム |
| その他         | 八尾市の課題である糖尿病予防、フレイル予防の健康づくりの取り組みを、地域で積極的に実施できるように提案していきたいと思う。また、参加してもらえる体制づくりにも力を入れたい。要介護にならないためにどのような生活を送り、食生活にも注意していくか。メタボ→ダイエット→少食にして筋肉量を減らすことのないよう啓発していく必要がある。  | 地域での健康づくりの取り組みでは、地域担当保健師を通して、健康課題である糖尿病やフレイルについて地域の皆さんと共有し、地域で主体的に健康課題の取り組みを進めていただいています。今後も地域コミュニティ、関係機関、関係課が連携し、取り組みを推進いたしますので、ご協力を賜りますようお願いいたします。フレイル予防につきましては、社会参加も重要であるところです。住民主体による活動グループやボランティア活動等への参加を支援するとともに、通いの場や居場所などの確保を通じて、高齢者を含むあらゆる住民が役割を持ち、高齢者自身も地域の担い手になれるよう、地域の関係団体と連携した取り組みを今後も進めてまいります。 | 健康まちづくり<br>科学センター<br><br>高齢介護課       |

| ページ数<br>項目等 | ご意見   | 回答（市の考え方）  | 担当課   |
|-------------|---|--|-------|
| 21          | 胃がん検診受診者数が大幅に増えているのは良い傾向だと思えます。可能なら、被曝もあるX線による検査は避けたいですし、内視鏡検査の方が精度も高いと思われれます。                            | がん検診につきましては、本市では検診としての有効性が認められている項目を国の指針に基づいて実施しております。引き続き、受診率の向上に努めてまいります。                          | 健康推進課 |
| 5           | 約3年を経過しようとしている新型コロナウイルスにかかる業務対応お疲れ様です。消防本部においても、新型コロナウイルス感染者の搬送については感染対策を万全に行い、保健所と連携を図りながら対応したいと考えております。 | 消防本部におかれましては、最前線で市民の安心・安全のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。引き続き、消防本部と十分に連携して万全の体制を図りたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。 | 保健予防課 |